

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	固形癌患者の早期診断および個別化治療を目指したリキッドバイオプシーによる新規診断法の開発
	研究目的	肺癌, 胃癌, 大腸癌, 膵癌, 乳癌の患者さまの手術前の血清を使用し, 最新のプロテオーム解析技術を用いて, 各種の癌の病態に關与するタンパク質・翻訳後修飾, バイオマーカー, および治療ターゲットなどを明らかにし, 科学的根拠に基づき, 高い診断精度と感度を有するリキッドバイオプシーを用いた癌診断法を開発する。
	研究対象者	2006年6月～2017年1月までに神奈川県立がんセンターで手術をされた胃癌, 大腸癌, 膵癌, 肺癌, 乳癌の患者さま
	研究期間	西暦 2019年1月11日～西暦 2028年3月31日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input checked="" type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物 (尿・便) <input type="checkbox"/> その他 (記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	当センター研 究責任者	消化器外科 大島 貴
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診 療科/部局等	消化器外科 胃食道
	共同研究の場合、共同研 究機関および各施設で の研究責任者	神奈川県立がんセンター臨床研究所 宮城 洋平 横浜市立大学 外科治療学 益田 宗孝 横浜市立大学 先端医科学研究センター 木村 弥生